

『都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育』

東京女子医科大学・杏林大学・帝京大学・駒澤大学



ニュースレター創刊号 平成27年5月号

新年度の開始にあたって

東京女子医科大学 理事長・学長代行
吉岡 俊正



文部科学省事業「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に選定され、東京女子医科大学・杏林大学・帝京大学・駒澤大学の4大学が連携し行っている「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」は今年で4年目を迎えています。

本年度も、新たながん医療者養成コースを開講するなど、より多くのがん医療者を目指す大学院生、がん医療関係者の教育・研究・診療に役立つプロジェクトを推進したいと思います。

がん医療者を目指す大学院生の皆さんには、ぜひコースを履修し学修に役立て、優れたがん医療者となって下さい。

関係の皆様におかれましては、ご協力により成果が上がりつつあるところですが、今年度はなお一層のご支援とご協力をお願いいたします。

都市に生活するがん患者における充実した サバイバーシップの実現に向けた調査研究

杏林大学 腫瘍内科学
古瀬 純司



さまざまながんの治療の進歩により、長期生存を果たすがん患者さんが増加しています。がんの治療後日常生活に復帰する、あるいは治療を続けながら生活を送ることが普通にみられるようになってきています。がんは長くつきあう慢性病に変化してきており、がん治療と並行して充実した生活を送ることが、がん医療の大きな課題となっています。

我々4大学によるがんプロフェッショナル養成事業(がんプロ事業)は、「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」を目的に掲げて進めています。都会に居住されるがん患者さんの特徴を理解した上で、適切ながん診療を確立していくことが主な課題です。

本がんプロ事業の3病院は東京女子医科大学病院が新宿の都心地区、帝京大学病院が東京都西北区域部の比較的人口の密集した住宅地区、杏林大学病院が東京都多摩地域の住宅地区を中心に診療を行っており、同じ東京都でありながら患者を取り巻く環境は異なることが考えられます。そこで3病院に通院されているがん患者さんのさまざまな情報を集めることにより、本がんプロ事業のサバイバーシップの向上に向けた取り組みの一環として、現状の把握と重要な資料の作成ができればと考え、今回の調査研究を計画しています。

がんプロ事業の推進とがん患者さんのサバイバーシップの向上に向けて、是非今回の調査を成功させるべく皆様のご協力をお願いできれば幸いです。



連携4大学合同市民公開シンポジウム

「がんってどんな病気か知ってる？」について

駒澤大学 医療健康科学研究科
吉川 宏起



今年度の市民公開シンポジウムは都市圏の小学校高学年、中学生、高校生を対象とし、『がんってどんな病気か知ってる？;がんの予防のしかたとがん検診の大切さ』をテーマに考えています。子どもの時からのがん予防の推進と都市圏で低いがん検診率を如何に向上させるかをねらって以下のような企画を検討しています。



1. 「がんの実態を知る」
 - a. 画像で見つける
 - b. 手術で治す
 - c. 薬で治す
 - d. 放射線で治す
 - e. 痛みや辛さを和らげる
2. 「がんの予防策を知る」

タバコのおそろしさ、肥満のこわさ、運動の大切さ、がんと感染症
3. 「がん検診の大切さを知る」
 - a. がんを予防するワクチン
 - b. お父さん、お母さんに教えてあげようがん検診の大切さ

日時:平成27年12月の土曜日または日曜日

場所:駒澤大学記念講堂(駒沢キャンパス)

※詳細については、決まり次第報告します。



第15回帝京がんセミナー

「こどもたちへのケアを考える」について

帝京大学医学部 緩和医療学講座
有賀 悦子



第15回 帝京がんセミナー

日時 2015年6月11日(木) 18:30~20:35

会場 帝京大学 本部棟 2階 臨床大講堂
東京都板橋区加賀2-11-1 03-3964-1211 (代表)

こどもたちへのケアを考える

~大切な人ががんになったり、亡くなったこどもたちへのサポートグループを通して~

開会のご挨拶 帝京大学医学部附属病院 副院長補佐
産婦人科学講座 主任教授 綾部 琢哉

講演 1 (18:35~19:05)

親ががんになったとき:子どもの発達の特徴と対応

座長:杏林大学保健学部看護学科 教授 中島 恵美子
演者:放送大学大学院 臨床心理学プログラム 准教授 小林 真理子

講演 2 (19:05~19:35)

CLIMB 参加者への継続した支援について

座長:帝京大学医学部附属病院 看護部長 土谷 明子
演者:東京共済病院 がん相談支援センター / Hope Tree 代表
ソーシャルワーカー 大沢 かおり

講演 3 (19:35~20:05)

死別を体験したこどもへのサポート

座長:東京女子医科大学 看護学部 看護学研究所 教授 飯岡 由紀子
演者:NPO法人 子どもグループサポートステーション代表 西田 正弘

質疑応答・討論 (20:05~20:35) 帝京大学医学部 緩和医療学講座 教授 有賀 悦子

閉会のご挨拶 帝京大学医療技術学部 看護学科 教授 南川 雅子

参加ご希望の方は、裏面の参加申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

日本医師会生涯教育講座認定学術単位 (CC5-医師-患者関係とコミュニケーション、CC8-心理社会的アプローチ、CC13-地域医療、CC34-その他 小児家族ケア)として2単位が認定されます。

主催 帝京がんセンター
共催 帝京大学医師会・帝京大学医学部附属病院・がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・
帝京大学医学部附属病院 医食連携室
後援 板橋区医師会・北区医師会・豊島区医師会・練馬区医師会

小・中・高校で、がん教育が始まりつつあります。しかし、親ががんであったり、がんで亡くしたりした子どもたちへの支援体制は、まだほとんどありません。過去2年間、小学校5、6年生へのがん教育をがんプロ事業で実施してきた経験から、その必要を私たちは実感しています。

そこで、臨床系多職種で構成される3大学緩和ケアチーム合同カンファレンスをさらに発展させ、3大学の看護系分野と共に、身近にがんの大人がいる子どもたちへのサポートグループを立ち上げることを計画しています。それに先立ち、すでに実施しているNPOの方々を講師に招き、セミナーを開催することとなりました。

親ががんになった子どもたちへのサポートとしてアメリカのCLIMBプログラムを国内に導入された大沢かおり先生、そのグループのメンバーであり、子どもの発達心理を専門にされている小林真理子先生、東北震災の地や板橋区で定期的な死別体験の子どもたちのサポートを続けている西田正弘先生にお話しして頂きます。また、このセミナーは、北区、板橋区の学校の先生方にもお知らせしており、地域で子どもたちへのケアを考える体制に繋いでいく予定です。

同日、サポートグループ立ち上げのキックオフミーティングをステアリングメンバーで予定しています。まずは、本セミナーに皆様、奮ってご参加ください！



その他の本年度合同企画について

合同成果報告

各大学の院生の活動内容を合同成果報告会で発表していただきます。
8月1日あるいは8日で日程調整中です。

合同カンファレンス

主催は医学部を有する3大学として合同のカンファレンスを開催いたします。
駒澤大学は院生の参加あるいは教員の放射線画像診断などにて参加致します。
初回は東京女子医科大学が企画し、「原発不明がん」をテーマとしたもので行います。

がんプロ緩和ケアチーム3大学合同カンファレンス

昨年持ち回り開催として開始されていますが、
今年は杏林と帝京で開催し、女子医大が参加する形で
事例検討を継続する予定です。



がんプロ推進メンバーにお気軽にご相談ください



東京女子医科大学

コーディネーター

林 和彦

化学療法・緩和ケア科 教授

コーディネーター

唐澤 久美子

放射線腫瘍学講座 教授

佐藤 紀子

看護学部長

田中 美恵子

精神看護学 教授

飯岡 由紀子

成人看護学 教授

杏林大学

コーディネーター

古瀬 純司

腫瘍内科学 教授

中島 恵美子

成人看護学 教授

高山 誠

放射線腫瘍学講座 教授

帝京大学

コーディネーター

江口 研二

難治疾患支援学講座 特任教授

コーディネーター

有賀 悦子

医学部緩和医療学講座 教授

佐野 圭二

医学部外科学講座 教授

関 順彦

医学部内科学講座(腫瘍内科) 病院教授

多湖 正夫

放射線科 教授

駒澤大学

コーディネーター

吉川 宏起

医療健康科学研究科 教授

嶋田 守男

医療健康科学研究科 教授

奥山 康男




医療健康科学研究科 教授



本年度開講の大学院コース

東京女子医科大学	都市型がん医療連携を担う がん治療専門医養成コース	がん治療専門医
	医理工連携がん研究者養成コース	医理工系研究者
	がん看護専門看護師養成コース	がん看護専門看護師
杏林大学	都市型地域医療専門医養成コース	がん治療専門医
	臨床試験研究者養成コース	腫瘍内科医、腫瘍外科医、放射線腫瘍医
	がん看護専門看護師養成コース	がん看護専門看護師
帝京大学	専門的緩和医療医師養成コース	緩和医療専門医
	地域でがんを診る総合医養成コース	がんを診る総合医
	臨床試験グループリーダー養成コース	腫瘍内科医、腫瘍外科医、放射線治療医
駒澤大学	がん地域遠隔画像診断支援 技術者養成コース	診療放射線技師
	医学物理士養成コース	医学物理士

登録・問い合わせ先

 東京女子医科大学 がんプロ事務局 TEL 03-3357-4889 MAIL top-g4.bm@twmu.ac.jp	 帝京大学 事務部 教務課 がんプロ担当 TEL 03-3964-1211(代表)(内線42122) MAIL ganpro@med.teikyo-u.ac.jp
 杏林大学 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局 TEL 0422-47-5512(内線3211) MAIL ganpro@ks.kyorin-u.ac.jp	 駒澤大学 教務部研究推進課研究推進係 TEL 03-3418-9125 MAIL ken-suishin@komazawa-u.ac.jp

本事業の最新情報はホームページに掲載、「TOP-G4」で検索